

令和元（2019）年度 栃木県浙江省友好交流員レポート（1月）

栃木県浙江省友好交流員 工藤瑠璃

2020年 新しい年の始まり

大晦日・元旦は、中国人にとって旧暦である春節ほど重視するものではないと事前に聞いていました。そのことは学校の授業スケジュールを見ても歴然です。驚くことに大晦日・元旦のみの正月休みでした。大晦日の31日は、中国人の友人、日本人の友人とともに京杭大運河を武林門から公共バスと同じ料金の船に乗り、遊覧しました。夕方に出発したので、船が到着するころには綺麗なライトアップの夜景を楽しむことができました。

京杭大運河は隋の時代に完成した歴史ある運河で、北京から黄河と長江を横断し杭州まで流れる全長1,794kmの大運河です。船の中からの景色も素敵でした。大晦日の町並みはやはりそこまでの盛り上がりはありませんでしたが、2020や新年快樂の装飾で少し大晦日気分を味わうことができました。

元旦の1月1日は、初日の出を見ようと大学の図書館裏から登れる山に登りました。麓の辺りで同じく栃木県浙江省友好交流員の橋本さんと遭遇し、一緒に登ることができました。あまり高い山ではありませんが、ひたすら階段を700段以上登るので息が上がります。頂上にかなり近づいたところで二手に道があり、一方は老和山、もう一方は將軍山の山頂と分かれています。それぞれ少し違った景色を楽しむことができます。この日はまだいった経験のない將軍山の山頂から日の出を見ることにしました。日が昇る前は西湖からの水蒸気でぼんやりしていましたが、しっかり日の出を見ることができ、また水蒸気の効



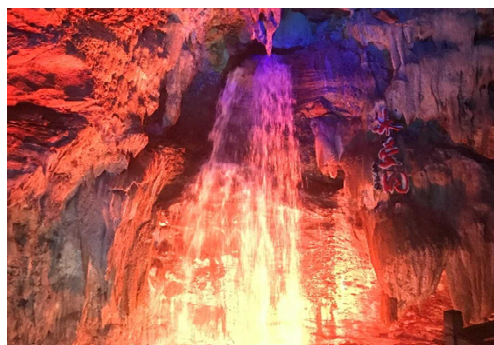
果で太陽の周りに広がる光が柔らかく美しかったです。気合たっぷり撮ったフィルム写真はフィルムの入れ方が悪かったせいか、うまく巻かれませんでした。予備で持っていった写ルンですの現像が楽しみです。橋本さんも私も肉眼が一番とは思いつつ何枚も写真を撮ってしまいました。その後前日に橋本さんが公共バスの中で植物園で梅の花が咲いたというニュースを耳にしたということだったので、お供させていただきます。一面梅の花とはいきませんが、とても綺麗で、梅の花の香りを人生で初めて感じることができました。新年早々幸先の良いスタートを切ることができ、充実感がありました。

午後からは他の友人と西湖の周りを散歩しました。元旦から三万歩近く歩いてしまいました。

浙江省内旅行

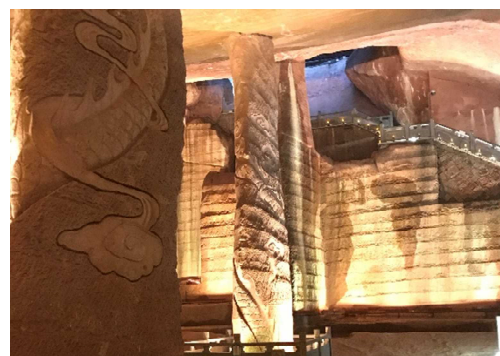
1月13日から17日まで四泊五日の省内旅行に連れて行っていただきました。天候に恵まれない日もありましたが、バスを手配していただき、自分ではいくことができない場所に数多く連れて行っていただきました。

一日目は、東陽市に行きました。この日の目玉スポットは横店影視城という多くの中国映画が撮影されている場所です。故宮など有名な建物も再現されていて面白かったです。中には3D眼鏡を用いたアトラクションや記念撮影ができるスポットもありました。また聞いたところ、この日も撮影があるということで撮影機器などの準備がされていました。



二日目は、金華市と蘭溪市に行きました。金華市では金華双龍洞という洞窟に行きました。洞窟の中は滝とライトアップで幻想的でした。また金華山大仙祖宮という神聖な場所にも行き、この敷地内には撮影が禁止されているエリアもありました。奥に進んでいくと全方面山に囲まれた陰と陽のパワーの堺目と言われている場所があり、二人一組で印づけられた二点に立ち、会話をすると、お互いの声が響いて聞こえるという現象に神秘的な気持ちになりました。おみくじの様な物があつたので、やってみると中下という結果で漢詩が書かれている形式でした。ちなみにこのおみくじの支払いもアリペイでした。蘭溪市では蘭溪諸葛八景村に行きました。この村は観光地でありながら、今も人が住んでおり、その大半が諸葛さんなのだそうです。この場所では諸葛孔明の50代目の子孫の方にもお会いでき、快く記念撮影させていただきました。このフリーダムなサービスが中国らしさだなと感じました。

三日目は、龍遊市の民居苑や石窟などに行きました。特に印象に残っているのは世界九大奇跡と呼ばれる龍遊石窟です。発見されてから間もない地下遺跡で、地下宮殿が河の氾濫で水没しそのまま忘れられてしまったのではないかとされているそうですが、事実は今も分かっていないようです。龍遊市職員の方に対して「どうしてこの地下建築が作られたのか分かったら、教えてくださいね」というような会話も起こっていました。壁の彫刻など非常にきれいな状態で遺っていました。



四日目は、衢州市の世界遺産である江朗山に行きました。雨の中の登山で少しハードでしたか、迫力満点の景色を見ることができました。パンフレットで見かける晴天時の景色も見てみたいと思いましたが、雨の江朗山も美しかったです。この省内旅行を通して、各市の職員の方々の温かいおもてなしが大変印象的でした。食事の際も「たくさん食べてください」というようなお声がけや料理の説明など熱心にしていただきました。また、この旅行を率いてくださった浙江省職員の方には大変お世話になりました。今回初めてお会いした韓国の浙江省駐在の方、そして各県の皆さんと和気藹々と旅行を楽しめたことは大変貴重で、思い出深い時間になりました。



春節

今年の春節期間（1月25日から31日）は、新型コロナウイルスの影響で外出が制限されていましたが、学校から春節弁当が支給されたり、人がいない時間を狙って、西湖を散歩するなどして、中国の春節時の装飾なども見ることができました。また、日本の元旦に比べて中国の春節は大胆に長期休暇を取る飲食店が多く、また大学内の食堂も1月の半ばから閉めるお店が多く、毎日営業している食堂は一軒のみでした。宿舎前のスーパーも長期休暇を取っていましたが、ウォルマートは営業時間に変更があるものの、毎日営業していたので助かりました。

上記の新型コロナウイルスの影響下で、私たち交流員の多くは早めの帰国を考え、私は二月以前に帰国する形になりました。

一月は授業のない一月ですが、中国の文化を学び、いろいろな一面に気づく時間になりました。また、中国の歴史を学ばなければと感じました。